●JICA国内研修ケンバ訪問記VOL.32
青年研修「アフリカ混成 環境若手リーダー」◎山梨編

OJAMA-SHIMASU

たけだみりこ

これにしてもそれ、実は新は一つではないというところがミソなんですよ
?
研修員たちが研修中、研修地の様子などいろいろ聞いたら
昔のない国から来た研修員たちは、東京からバスで現地に入った時から、広大な世界に目がくぎ付け状態だったそう。
一昨日 雪が降った時は 寒さもこたえるみたいだって言ってました
研修監理員の野村さん
みんなはしゃいでついてきましたよ
でも、家さえは意外に慣れるのが早かったそう。
みんなのりと慣れてますね～
そして みんなすごく熱心で、それぞれが目標を持ってこの研修に参加しているそう。
特に大学 研究室から来ている人が、日本のごみ処理の歴史について調べているとのことなんですが
彼らにアジアの未来がかかっているとも言えますよねー
しっかり調べなくっちゃね
インターンの民野さん
それにしても今日は静かだなぁ
おまもりもあんまり効んでないし
ハイ、いつもはみんなコーヒー紅茶を飲みながらお話するんですが…
そういえば静かですね
お、
ピー
ピー
お、
研修後、現場と研究室に戻ってからの話し合い
研修員たちはこれまでの経験を話しあいながら、自分の国の問題点を探っていました
これはどうも、若手のチームに自分たちの計画が漏れないようにということらしいですね
なるほど
研修員たちは静かに話しあっている
続く発表会ではなぜこうなったかをそれぞれが説明し、質疑応答をした。
黒板に張られた学校の町の図は不思議なことにとても似ていた。
学校の町の図は 学校の建物を中心に 道路や住宅などが配置されていて、
なぜ、みんなの町の図は 学校を中心にしていないのかな？
学校の建物は 中心にあるけれど、
学校の建物は 中心にあるけれど、
学校の建物は 中心にあるけれど、